

第3回WEB版タマテバコ

2023.3月発行

第3回 WEB 版タマテバコを発行いたしました。今回は須崎市、高知市、安芸市で活動している

3つのシニアの団体について紹介しております。各団体、それぞれ違った活動を
されていますが、どの活動も「地域のつながりづくり」につながることを感じました★
ぜひ最後までご覧ください！



吾桑第一・第二さくら会（須崎市）

須崎市の吾桑公民館を拠点に活動する吾桑第一・第二さくら会
活動年数は約50年となっており、長い歴史があります！入会は
60歳以上からできるようになっており、会員は60名となっています。
地域のシニアが一丸となり、吾桑地区に根付いた活動をしています。



公民館、小学校、保育園、郵便局、農協などと協力しながら地域の美化活動や運動会、盆踊り、年末
には門松作りと季節の催しのサポートをしています。活動することにより、会員同士で定期的に顔を合わせ
る機会ができており、お互いの見守り活動にもなっています。

毎月20日にはあいさつ運動の活動をしています。登下校時に小学生
が元気に挨拶してくれるそうでそれが活動するモチベーションにもなってい
るそうです😊現代では、「知らない人に声をかけてはいけない」という風潮
がありますが、吾桑第一・二さくら会が小学校や保育園と共に活動すること
で子供たちもシニアも互いに顔を知ることができています。そのため、子供た
ちが元気に挨拶できる環境づくりができていることを感じます。



他にも小学生と協力し「花いっぱい活動」という植栽活動もしており、
地域の子供たちと地域の美化にも貢献しています。小学校の持久走
大会や運動会、盆踊り大会などサポートが必要なときには真っ先に
吾桑第一・二さくら会にお声がかかるそうで、地域にも頼りにされる
存在となっています。会員自身も活動を行うことが生きがいであり、
やりがいになっていると素敵な笑顔で話してくれました😊😊

高知県ボッチャたのしむ会 (高知市)

お問い合わせ

〒780-8063 高知市朝倉丙 98 番地 2

高知県ボッチャたのしむ会 豊永 正行

☎090-8974-4223

✉mtoyonaga08@gmail.com

毎月第2・4木曜日 13時から17時まで高知市障害者福祉センターにてボッチャの練習をしている高知県ボッチャたのしむ会！現在は16名の会員で活動しています。また、どなたからでも依頼があればユニバーサル精神にのっとり、地域に出向いてボッチャ体験会を開催しています。そういったボッチャの普及・支援活動は全てボランティアで行われています🍷



ボッチャは性別や年齢、世代、障害の有無を問わず、誰しもの参加できる競技であり、様々な人たちの交流ができる競技といえます。練習には入会していない方でも飛び入り参加ができるようにしており、皆が楽しめる環境づくりをしています🌸

より多くの人々にボッチャの楽しさを知ってもらうこと、高齢者や障がい者を独りにしない、ボッチャに参加していただくことにより仲間づくりや健康づくりにつなげることを目標、原動力として活動しています！また、地域貢献活動として皆が楽しむことができる場所を増やしたいという想いがあるそうです。

今後は体験会で出向いた地域や団体とトーナメント戦の大会を行い、練習で培ってきた力を発揮できる場づくりをするそうです。仲間づくりのために懇親会も兼ねて行うことを検討しており、必ず開催するという強い意気込みを語ってくれました👏



ボッチャとは？

ヨーロッパで重度脳性麻痺者・四肢重度機能障がい者のために考案されたスポーツです！
今やパラリンピックの正式種目となっており、様々な人々が挑戦できる競技となっています。

白ボール1個（ジャックボール）、青ボール6個、赤ボール6個を使い、競技をします。



赤・青のボールを投げたり、転がしたり、他のボールに当てたりして、ジャックボールへ近づけ、距離を競います👏
投げることができない場合は、滑り台のようなランプという道具を使います。

川北読み聞かせ隊（安芸市）

安芸市の川北保育所、川北小学校で毎週木曜日朝約10分間子供たちへ絵本や紙芝居など読み聞かせを行っている川北読み聞かせ隊

保育所1名、小学校各学年1名計6名とピンチヒッター2名、隊長の計9名の隊員で活動しています。活動期間は15年以上となっており、保育所、小学校と連携した活動を長期にわたって続けています★

隊員は読み聞かせをするにあたって図書選びから始めるそうです。行事や季節についてや子どもたちのことを考えながら各々で図書を選定し、事前に読み込んで読み聞かせの場に向かいます。



この活動を通じて、子どもたちから元気をもらい勉強もさせてもらっており、大きな声を出すことによって、健康増進にもなっていると話してくれました😊

子どもたちも週1回の読み聞かせを楽しみにしており、地域のシニアと関わる良い機会となっています。6年生は3学期の最後には「次はどんな本を読んでもくれるか、毎週木曜日が楽しみでした」という感想文を寄せてくれます。本好きになったという生徒もいて、隊員たちには、その言葉が継続できるモチベーションになっています。

保育所、小学校と共に活動を継続できる秘訣としては懇親会だそうです。「焼きそばと卵焼きの会」と銘打って、時には隊員の釣ってきた魚の刺し身や季節の野菜の天ぷらなど隊員の手作りで、舌鼓を打ちながら保育所・小学校の先生方と情報交換、交流を行っています。子どもたちの好きな本のことや隊員同士



の本読みの感想など、お互いの読み聞かせへの思いを語り合い、次へのステップとして大切な機会となっています。読み聞かせの活動を継続させ、保護者の方々をはじめ子育て世代が家族で読書に親しむ機会を多くもち、読書を通して大人の交流・地域のつながりづくりにも発展させていきたいと希望を語ってくれました。

取材をさせていただいた団体の皆様、ありがとうございました



令和5年度もシニアの団体の周知・啓発、それに伴い地域のつながりづくりや見守り活動の促進をしていきます。来年度も「WEB版タマテバコ」をよろしくお願いいたします！